

令和3年度
各特別会計
当初予算の概要

令和3年3月
国見町

目 次

令和3年度国見町大木戸財産区特別会計当初予算の概要	1
令和3年度国見町入山財産区特別会計当初予算の概要	2
令和3年度国見町公共下水道事業特別会計当初予算の概要	3
令和3年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要	4
令和3年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要	5
令和3年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要	7
令和3年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要	9
令和3年度国見町渇水対策施設特別会計当初予算の概要	10
令和3年度国見町水道事業会計当初予算の概要	11

令和3年度国見町大木戸財産区特別会計予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 昭和39年3月21日
 (2) 財産区の区域 旧大木戸村及び旧西大枝の一部（築館、原町）
 (3) 山林の所在 国見町大字貝田字貉石山1外
 (4) 山林所有面積 36.25ha
 内訳 分収林 33.73ha（県行造林）
 直営 2.52ha
 (5) 樹種 スギ、アカマツ外
 (6) 立木推定蓄積量 8,842m³

2. 予算の概要

管理会に要する経費及び管理委員による境界踏査、看守員による巡視の賃金など、一般管理経費が主なもので、予算総額は、歳入歳出それぞれ157千円となります。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 繰入金	103	133	△30	△22.6
2 繰越金	53	23	30	130.4
3 諸収入	1	1	0	0.0
計	157	157	0	0.0

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	51	51	0	0.0
3 予備費	5	5	0	0.0
計	157	157	0	0.0

令和3年度国見町入山財産区特別会計予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 明治37年11月14日
- (2) 財産区の区域 旧藤田町外3ヶ村の一部
- (3) 山林の所在 白石市小原字雨塚山2-2外
- (4) 山林所有面積 265.33ha
 内訳 分収林 255.72ha
 (森林総合研究所森林農地整備センター・地区)
 直営 9.61ha
- (5) 樹種 スギ、アカマツ、ヒノキ、カラマツ外
- (6) 立木推定蓄積量 28,969m³

2. 予算の概要

管理会に要する経費及び管理委員による境界踏査、看守員による巡視の賃金など、一般管理経費が主なもので、予算総額は、歳入歳出それぞれ194千円となります。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 繰入金	125	183	△58	△31.7
2 繰越金	68	10	58	580.0
3 諸収入	1	1	0	0.0
計	194	194	0	0.0

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	88	88	0	0.0
3 予備費	5	5	0	0.0
計	194	194	0	0.0

令和3年度国見町公共下水道事業特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上等を目的として整備した総延長29kmに及ぶ下水道管路の安定的かつ適正な維持管理を実施します。

なお、令和3年度の主な事業としては、管渠移設工事、地方公営企業法移行支援業務委託、事業計画変更業務委託、マンホール点検業務委託となります。

2. 予算の概要

歳入では、受益者負担金が74千円（前年比92.9%減）、使用料及び手数料については、81,295千円（前年比3.0%減）となり、国庫支出金は1,300千円（前年比80.7%減）、町債は72,600千円の借入れを行うとともに、一般会計から106,583千円の繰入を行い、歳入総額は262,975千円となります。

歳出では、流域下水道建設負担金、管渠移設工事、地方公営企業法移行支援業務委託、事業計画変更業務委託、マンホール点検業務委託、流域下水道維持管理負担金などの事業費に99,731千円（前年比19.9%増）となります。また、公債費は元利償還金で153,632千円（前年比1.6%減）となり、歳出総額は前年より14,276千円増の262,975千円となります。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 分担金及び負担金	74	1,037	△963	△92.9
2 使用料及び手数料	81,295	83,787	△2,492	△3.0
3 国庫支出金	1,300	6,750	△5,450	△80.7
4 繰入金	106,583	92,502	14,081	15.2
5 繰越金	1	1	0	0.0
6 諸収入	1,122	1,122	0	0.0
7 町債	72,600	63,500	9,100	14.3
計	262,975	248,699	14,276	5.7

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	9,312	9,114	198	2.2
2 事業費	99,731	83,196	16,535	19.9
3 公債費	153,632	156,089	△2,457	△1.6
4 予備費	300	300	0	0.0
計	262,975	248,699	14,276	5.7

《参考》

・供用区域及び排水設備接続状況

供用区域	面積	141.2ha	令和2年度末見込み
	対象戸数	1,949戸	
	接続戸数	1,766戸	
	接続率	90.61%	
	汚水排水量	423,557m ³	

令和3年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

後期高齢者医療制度では、広域連合が保険者となってその運営を行うため、本特別会計では、町の実施する保険料の収納と広域連合への納付のための各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等にかかる予算となっています。

なお、広域連合を運営するための医療給付等の町負担分、事務経費としての共通経費は一般会計での拠出となっています。

- ① 被保険者数 令和2年12月末現在1,930人（令和元年度1,941人）
- ② 保健事業 健康診査218人 追加健診項目218人（令和2年度）

2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、それぞれ136,856千円で、前年度当初予算と比較して6,096千円（4.3%）減となっています。

歳入の主なものは、被保険者からの保険料収入が89,587千円で前年比4.8%減、一般会計からの繰入金が42,729千円で前年比3.5%減、広域連合からの健診事業委託料等の諸収入が4,539千円で前年同額となっています。

歳出の主なものは、事務経費である総務費が5,244千円で前年比19.0%減、保険料収入や健診事業負担金等の広域連合納付金が124,565千円で前年比4.0%減、健診事業に係る保健事業費が6,817千円で前年比5.4%増となっています。

3. 歳入歳出予算

（歳入）

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 後期高齢者医療保険料	89,587	94,123	△4,536	△4.8
2 繰入金	42,729	44,289	△1,560	△3.5
3 繰越金	1	1	0	0.0
4 諸収入	4,539	4,539	0	0.0
計	136,856	142,952	△6,096	△4.3

（歳出）

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	5,244	6,473	△1,229	△19.0
2 後期高齢者医療広域連合納付金	124,565	129,783	△5,218	△4.0
3 諸支出金	130	130	0	0.0
4 保健事業費	6,817	6,466	351	5.4
5 予備費	100	100	0	0.0
計	136,856	142,952	△6,096	△4.3

令和3年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

平成30年度から国民健康保険制度が改正され、福島県とともに保険者となり、その運営を行っています。本特別会計は、町が実施する国保税の収納と保険給付費をまかなうための福島県へ納付する各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等にかかる予算となっています。

① 被保険者(各年度12月末現在)

(単位:人)

項目		令和2年度	令和元年度	増減	
一般分	一般	1,488	1,522	△34	
	70歳以上一般	602	612	△10	
	70歳以上現役並所得者	60	48	12	
	18歳以下	121	143	△22	
退職者分	本人	0	2	△2	
	家族	一般	0	0	0
		18歳以下	0	0	0
合計		2,271	2,327	△56	

② 保険給付費(内訳)

(単位:千円)

項目		本年度予算額	前年度予算額	増減比(%)
療養給付費	一般被保険者療養給付費	608,687	622,447	△2.2
	退職被保険者療養給付費	1	100	△99.0
療養費	一般被保険者療養費	2,607	6,086	△57.2
	退職被保険者療養費	0	5	皆減
審査手数料		2,943	2,591	13.6
高額療養費	一般被保険者高額療養費	80,435	84,108	△4.4
	退職被保険者高額療養費	0	100	皆減
	一般被保険者高額介護合算療養費	285	106	168.9
	退職被保険者高額介護合算療養費	0	10	皆減
移送費	一般被保険者移送費	20	20	0.0
	退職被保険者移送費	0	20	皆減
出産育児一時金(4名見込)		1,681	1,681	0.0
葬祭費(25名見込)		1,250	1,500	△16.7
新型コロナウイルス感染症傷病手当金		1,262	0	皆増
合計		699,171	718,774	△2.7

③ 保健事業(数字は、R2受診(見込)者数、利用(見込)者数)

特定健診受診398人 積極的支援7人 動機づけ支援28人
人間ドック207人

④ 医療費適正化推進事業

レセプト審査の委託、ジェネリック薬品差額通知書作成送付、医療費通知書作成送付、ジェネリック希望カード、臓器提供意思表示カード等の配布

⑤ 国保保健指導事業

特定健康診査未受診者対策勧奨通知、特定保健指導未利用者勧奨、
重複・頻回受診、重複・多剤併用受診者訪問指導、糖尿病性腎症重症化予防

⑥ 国民健康保険財政調整基金残高(令和2年度末見込)48,398千円

2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 1,050,520 千円とし、前年度と比較し 10,096 千円 (1.0%) 減となっています。

歳入では、国民健康保険税が 220,322 千円で対前年比 2.3%増、県支出金が 735,956 千円で対前年比 3.3%の減、一般会計繰入金が 94,203 千円で対前年比 13.8%増となっています。

歳出では、保険給付費が 699,171 千円で対前年比 2.7%減、国民健康保険事業費納付金が 279,244 千円で対前年比 1.4%増、保健事業費については 30,268 千円で対前年比 11.9%増となっています。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国民健康保険税	220,322	215,457	4,865	2.3
2 国庫支出金	1	1,453	△1,452	△99.9
3 県支出金	735,956	760,868	△24,912	△3.3
4 財産収入	19	33	△14	△42.4
5 繰入金	94,203	82,786	11,417	13.8
6 繰越金	1	1	0	0.0
7 諸収入	18	18	0	0.0
計	1,050,520	1,060,616	△10,096	△1.0

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	34,292	29,213	5,079	17.4
2 保険給付費	699,171	718,774	△19,603	△2.7
3 国民健康保険事業費納付金	279,244	275,295	3,949	1.4
4 保健事業費	30,268	27,046	3,222	11.9
5 基金積立金	19	34	△15	△44.1
6 諸支出金	6,526	9,254	△2,728	△29.5
7 予備費	1,000	1,000	0	0.0
計	1,050,520	1,060,616	△10,096	△1.0

令和3年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

(1) 被保険者等(令和2年12月末現在)

①第1号被保険者数 3,690人(75歳以上1,916人)(前年同月3,680人)

②要介護認定者数 687人(75歳以上618人)(前年同月686人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率
51人	72人	100人	150人	105人	111人	98人	18.6% (前年18.6%)

(2) 介護給付費 1,350,964千円

内訳 介護サービス等諸費：1,237,983千円 — 居宅サービス費 519,790千円
 介護予防サービス等諸費：16,533千円 — 地域密着型サービス費 270,412千円
 審査支払手数料：1,248千円 — 施設サービス費 447,781千円
 高額介護サービス等費：30,000千円
 高額医療合算介護サービス費：4,000千円
 特定入所者介護サービス等費：61,200千円

(3) 地域支援事業費 68,811千円

- ・介護予防・生活支援サービス事業(訪問型サービス、通所型サービス等)
- ・一般介護予防事業(介護予防普及啓発、地域介護予防活動支援事業等)
- ・包括的支援事業・任意事業(地域包括支援センター事業委託、認知症施策推進事業等)

(4) 介護給付費準備基金残高(令和2年度末見込み) 173,436千円

2. 予算の概要

令和3年度歳入歳出当初予算は、町が定める第7期介護保険事業計画(計画期間平成30年度～令和2年度)を基本としながら、第7期計画期間中の居宅サービス、施設サービスの利用状況等を勘案して編成しています。

保険事業勘定の今年度の歳入歳出当初予算総額は、歳入歳出それぞれ1,473,302千円で、前年度と比較して6.2%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料318,070千円(23.7%増)、分担金及び負担金66千円(増減なし)、国庫支出金344,925千円(8.1%増)、支払基金交付金373,047千円(5.8%増)、県支出金202,747千円(4.0%増)、繰入金230,620千円(12.7%減)となっています。

歳出の主なものは、総務費48,283千円(13.3%増)、保険給付費1,350,964千円(5.8%増)、基金積立金41千円(31.7%減)地域支援事業費68,811千円(10.1%増)となっています。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 保 険 料	318,070	257,125	60,945	23.7
2 分担金及び負担金	66	66	0	0.0
3 国庫支出金	344,925	318,937	25,988	8.1
4 支払基金交付金	373,047	352,607	20,440	5.8
5 県 支 出 金	202,747	195,008	7,739	4.0
6 財 産 収 入	41	60	△19	△31.7
7 繰 入 金	230,620	262,173	△31,553	△12.0
8 繰 越 金	1	1	0	0.0
9 諸 収 入	3,785	1,472	2,313	157.1
計	1,473,302	1,387,449	85,853	6.2

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総 務 費	48,283	42,603	5,680	13.3
2 保 険 給 付 費	1,350,964	1,277,091	73,873	5.8
3 基 金 積 立 金	41	60	△19	△31.7
4 地 域 支 援 事 業 費	68,811	62,492	6,319	10.1
5 諸 支 出 金	203	203	0	0.0
6 予 備 費	5,000	5,000	0	0.0
計	1,473,302	1,387,449	85,853	6.2

令和3年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

本会計は、福島地方土地開発公社に委託し進めている国見ニュータウン分譲に係る特別会計で、主に国見ニュータウンの宅地分譲代金の受け入れと、福島地方土地開発公社への委託料の支払いに充ててきました。

「国見ニュータウン」の宅地分譲が令和2年度で完了したため、新たな土地取引が発生するまでの間、存目計上とします。今後は、小坂地区緑住区に分譲が想定されています。

2. 予算の概要

歳入では、存目計上とする土地売払による財産売払収入1千円、一般会計繰入金1千円、繰越金1千円、預金利子1千円を合わせた歳入総額を4千円と見込みました。

歳出では、委託料1千円を存目計上し、予備費3千円と合わせて歳出総額を4千円と見込みました。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	1	33,708	△33,707	△99.9
2 繰入金	1	390	△389	△99.7
3 繰越金	1	1	0	0.0
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	4	34,100	△34,096	△99.9

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	1	34,046	△34,045	△99.9
2 予備費	3	54	△51	△94.4
計	4	34,100	△34,096	△99.9

令和3年度国見町湧水対策施設特別会計当初予算の概要

1. 事業の概要

本会計は、東北新幹線蔵王トンネル掘削に伴う自然湧水枯渇によるかんがい用水の送水に要する経費を計上し、その財源は湧水対策施設基金の運用収入で行っております。

令和3年度の管理運営にあたっては、かんがい期における石母田ポンプ場、高城ポンプ場からの効率的送水により電気料等の経費節減を図るとともに、両施設における維持修繕等もあわせて行うこととしております。

2. 予算の概要

この会計の財源である基金については、低金利時代の中にあつて令和3年度も引き続き効率的な運用を図ることとして予算編成しました。土地開発公社への貸し付けについて、203,097千円の運用を予定し、財産収入において541千円（前年比44.7%減）を見込みました。また、老朽化する施設等の維持管理に対応するため、繰入金において8,810千円を見込みました。

その結果、歳入歳出の予算総額は前年度比628千円減の9,402千円となりました。

3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	541	979	△438	△44.7
2 繰入金	8,810	9,000	△190	△2.1
3 繰越金	50	50	0	0.0
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	9,402	10,030	△628	△6.3

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	163	163	0	0.0
2 財産管理費	9,189	9,817	△628	△6.4
3 予備費	50	50	0	0.0
計	9,402	10,030	△628	△6.3

4. 湧水対策施設基金の状況

(単位：千円)

区分	令和2年度末 (見込み)	令和3年度増減額 (見込み)	令和3年度末残高 (見込み)
町	365,484	△8,810	356,674
貝田	20,770	0	20,770
山根	11,940	0	11,940
合計	398,194	△8,810	389,384

令和3年度国見町水道事業会計当初予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 給水件数 41,976件 (月平均3,498件)
- (2) 給水人口 8,753人
- (3) 1日平均給水量 2,565^m (令和2年度 2,500^m)
- (4) 年間総給水量 936,180^m (令和2年度 912,628^m)

2. 予算の概要

水道事業収益については、令和3年度も安全で良質な水道水の安定供給に努めるとともに、福島地方水道用水供給企業団からの受水量については、有収率の向上等を予測し、前年受水量の約5.2%減を見込んでおります。

水道事業費用については、一層の経費削減や経営の合理化を図り、経営の健全化に努めます。しかし、人口減少等給水収益の減により、単年度における収益的収支においては8,729千円(税抜)の純損失の見込みです。

資本的支出については、生活基盤施設耐震化等交付金事業により、避難所等の重要給水施設への配水管布設替等を図るとともに、単独事業においても老朽管の布設替工事等を予定しております。

資本的収入については、国庫補助金、企業債、出資金等を見込み、不足する額は内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金)等で補填することとしました。

3. 収益的収入及び支出

※税込額

(収入)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業収益	230,684	222,536	8,148	3.7
2 営業外収益	22,704	23,682	△978	△4.1
3 特別利益	1	1	0	0.0
計	253,389	246,219	7,170	2.9
(剰余金)	(△6,932税抜)			

(支出)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業費用	253,134	251,433	1,701	△0.7
2 営業外費用	2,086	2,464	△378	△15.3
3 特別損失	1	1	0	0.0
4 予備費	500	500	0	0.0
計	255,721	254,398	1,323	△0.5

4. 資本の収入及び支出
(収入)

※税込額
(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国庫補助金	13,235	6,025	7,210	119.7
2 企業債	17,600	0	17,600	皆増
3 工事負担金	1	1	0	0.0
4 出資金	17,000	8,000	9,000	112.5
計	47,836	14,026	33,810	241.1
(補填金)	(46,466税込)			

(支出)

(単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 建設改良費	84,480	78,300	6,180	7.9
2 企業債償還金	9,822	8,646	1,176	13.6
計	94,302	86,946	7,356	8.5

5. 令和3年度建設改良工事等

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
生活基盤施設耐震化等 交付金事業	52,940	配水管布設替	塚野目字三本木 他
老朽管更新事業	31,400	配水管布設替	高城字家老 他
		配水管布設箇所舗装 設計業務委託	貝田字畑中 他
量水器購入費	140	量水器購入費	